

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第207号

令和2年(2020)12月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

リュウゼツラン



中南米の砂漠地帯に多く生える多肉植物。100を超える種類があります。細長く尖っていて周囲にとげがある葉の形状から「竜の舌」になぞらえてこの名が付けられました。

花は100年に一度だけ咲くと言われていますが、実際には10年から20年ごとに咲き、果実もできるとのことです。葉が厚くその中に糖分を蓄えるので、現地では甘味料や蒸留酒テキーラの原料になったり、丈夫な繊維を取るなど様々に利用されているようです。葉は不定形に曲がったりねじれたりして、一枚一枚違った表情をしており迫力があります。そのためお花の世界では展覧会でよく使われます。

近隣では第一日野小のわきの植栽で見ることができ、残念ながらこの記事が載るころには運動場の工事のため伐採されているかもしれません。

(荏原2丁目・伊藤 茂実)

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。令和2年度6月発行号以来の地域情報紙「まちかど」の発行です。この異常な状態であるのは、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、編集会議が開催できずにいたからです。未だ新型コロナウイルスの終息が見えない状況ですが、部屋の換気とアルコール消毒、マスクの着用と密にならない環境での編集会議の開催に至りました。そして今回、第207号を発行することができました。

この新型コロナウイルスは世界の歴史の中で、これから先語り継がれていくことでしょうか。この記事は11月中旬に執筆しておりますが、フランス、イギリス、スペインでは再び非常事態の発令がされている様です。目に見えないウイルスは、どのような形で私たち人間を狙っているのでしょうか。この東京でも、連日4000名、5000名と感染者が一向に減少しない状況が続いています。新型コロナウイルスの流行から、気づけば、1年が経とうとしています。2021年には有効なワクチンができそうですが、それまでは現在の萎縮した生活が続くかもしれません。

小山5丁目・石井 和正

まちかど発行再開



～コロナと向き合う日々～

たいです。以前のような生活様式に戻る日が来るのでしょうか。待ち遠しく思います。つらく苦しかった2020年が終わり、来年は新型コロナウイルスが克服され、明るい年になりますようお願いいたします。

(広報委員座長

小山2丁目西部・高橋 元嘉)

三谷八幡神社
新宮司就任



地元の皆様に親しまれている三谷八幡神社では、この度令和2年9月1日を以って、前宮武義典宮司の後任として、大竹久雄宮司が就任致しました。同宮司は愛知県出身で、三重県の椿大神社に永年勤められ、神道一筋の人生を歩まれた方で、本年66歳になられます。

「神意奉行」(神の御心に沿ってご奉仕すること)を座右の銘とし、大変明るく気さくな方ですので、神社お参りの際に宮司を見かけましたら、気軽にお声掛けください。気持ちのよい挨拶を交わせると幸いです。

(三谷八幡神社総代会会長

小山5丁目・石井 和正)

高齢者クラブ紹介

亀楽会(荏原一丁目町会)

新型コロナウイルス感染に注意しながら、令和2年度の活動が6月から始まりました。グランドゴルフは、毎週月・金曜日にさくら公園で6～10名の参加で楽しんでいます。また、7月から輪投げの練習も始まりました。カラオケは後地シルバーセンターの許可が得ず、残念ながらお休みです。7月1日に供養会、10月には寿の集いを開催しました。新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、供養会では



焼香をして、寿の集いではお祝いの方々の紹介や一言自己紹介を行い、お弁当を持ち帰り自宅で食事をしました。参加者も多く、久しぶりに元気な姿で顔を合わせることができ、和やかなひと時を過ごすことができました。

現在亀楽会は、101名の会員がいます。供養会、寿の集い(喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿の方のお祝い)、新年会を毎年行っています。昨年度より折紙教室・工作教室・習字教室を開いています。会員や地域の方で折紙や工作の上手な方に講師をお願いし、蝶々・ピエロ・お雛様・金魚を作り、楽しむことができました。また、習字教室では、夏の便り・年賀状・干支の飾り・夏文字の団扇作りなど作品として仕上げました。どれも玄関を華やかにしてくれます。

昨年度は「荏原1丁目の今昔」について地図を基に、戦前から住んでいる方の話や戦後すぐに住み始めた時の様子を聞き、地域についての知識を深めることができました。

町会の活動に協力したり、公園の花壇の世話や清掃活動を行ったり、高齢者が活動できることを増やして、元気に会員相互の親睦を図っています。亀楽会への入会をお待ちしています。

(亀楽会会長・井村 季子)

シリーズ

品川平塚剣友会⑤

富士登山に似たり

剣道の修行において、大切なことは自分に合った「師」を探し当てることにあるといわれます。自分の「師」がどのような方であるのか、吟味すべきでしょう。

剣道の修行は富士登山に似ています。富士山の主な登山ルートは4つあります。初心者向けの吉田ルート、直進で最短距離の富士宮ルート、経験者向けの須走ルート、最長距離で過酷な御殿場ルートがあります。お分かりの様に、富士登山の最終目的は山頂に登ることです。それぞれのルートを剣道の修行に例えます。然らば、自分自身の師範につくかは難しいことながら、条件を見極めて決めていくことが重要です。真つ直ぐ進むルートが自分に合っているか、もしくは、ゆっくり時間をかけてでも長いルートにするか。優しい師範の下で長期間か

けるか、厳しい師範の下で短期間でいくかのルートであっても最後には頂上が見えてきます。その頂上に到達するまでの過程が、師範の教えによって大きく左右されるものになります。その過程で、不幸にも困難が待ち受けていることもありますが、それまでの苦しみを山頂に到達することが、それまでの苦しみを忘れさせる程の最大の喜びの味わいになることではないでしょうか。

剣道の修行において、師範と教えを得る弟子の絆が、剣道人の最高の結果をもたらしているように思います。

(荏原3丁目 池田 晴夫)

